

Shibaura Machine

View the Future with You

株主の皆さまへ 第98期中間報告書

(2020年4月1日から2020年9月30日まで)

芝浦機械株式会社

証券コード：6104

Shibaura Machine

株主の皆さまへ



取締役社長
坂元 繁友

株主の皆さまには、平素よりご高配を賜わり、心よりお礼申し上げます。
ここに、株主の皆さまへ（第98期中間報告書）をお届けするにあたりまして、ひと言ごあいさつ申し上げます。

当第2四半期の状況と業績

当第2四半期連結累計期間における世界経済は、新型コロナウイルス感染拡大の影響が続く中、依然として厳しい状況が続いているものの、経済活動の再開が徐々に進み、回復の兆しが見られました。わが国経済も緊急事態宣言解除後は経済活動が徐々に戻りつつあり、輸出や生産に持ち直しの動きが見られました。

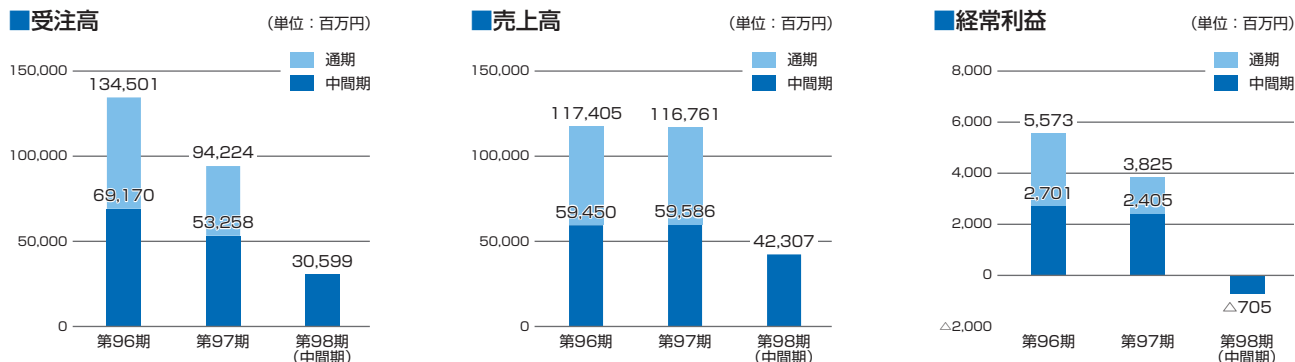
当社グループが属する機械業界につきましては、中国や米国など一部の地域では設備投資需要の回復が見られますが、国内外とも自動車関係を中心に設備投資に対して消極的な姿勢が継続しております。

このような経済環境のもとで、当社グループは中期経営計画である「経営改革プラン」に基づき、高収益企業への変革に向けて、組織再編を中核とした経営改革、成長分野に対応した投資の推進、資本効率（ROE）の向上を目指した財務戦略の実行に取り組んでおります。

当第2四半期連結累計期間の受注高は、新型コロナウイルス感染拡大の影響などにより設備投資に慎重な動きが見られたことから305億9千9百万円（前年同期比42.5%減）、売上高は423億7百万円（前年同期比29.0%減）となりました。損益につきましては、営業損失は3億1千5百万円（前年同期は営業利益16億3千7百万円）、経常損失は7億5百万円（前年同期は経常利益24億5百万円）、親会社株主に帰属する四半期純損失は10億5千2百万円（前年同期は親会社株主に帰属する四半期純利益16億2千万円）となりました。

なお、第1四半期連結会計期間の期首に、経営効率および収益性向上を図るため、カンパニー制の採用を伴う組織再編を実施いたしました。この組織再編に伴って、産業用ロボットおよび電子制御装置事業を従来の「その他」セグ

業績ハイライト



メントから「制御機械」セグメントに変更しています。

連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第2四半期連結累計期間の連結業績につきましては、売上高は、前回予想から微増いたしました。利益は、新型コロナウイルス感染拡大の影響を受け、活動経費が減少したこと、第2四半期連結累計期間発生見込の経費が第3四半期以降へずれ込んだことなどにより、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する四半期純利益は、それぞれ前回予想を上回りました。

なお、通期の連結業績予想につきましては、変更はありません。今後業績動向等により、業績予想の修正が必要となった場合には速やかに公表いたします。

詳細は、2020年11月9日に公表いたしました「2021年3月期第2四半期累計期間の業績予想数値と実績値の差異に関するお知らせ」をご参照ください。

配当について

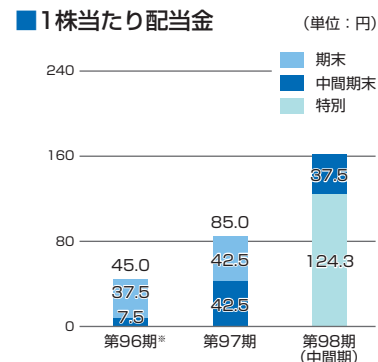
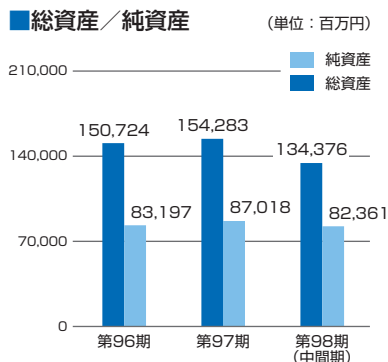
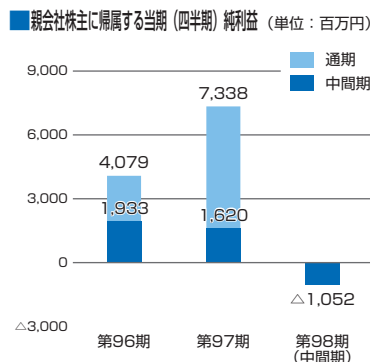
当社は、収益性の向上に向けて経営体質の強化を図りながら、安定配当を維持し、業績に応じた利益配分をいくことを基本方針としております。利益剰余金につきましては、財務体質を強化しつつ、企業の継続的発展のため将来の事業展開等を戦略的に判断し、生産設備、技術開発、海外展開等に有効に投資していくとともに、継続して株主の皆さまへの適正な利益還元を実施してまいります。

当期中間配当金につきましては、1株につき普通配当37.5円とさせていただきます。

なお、2020年6月1日に公表いたしました「剰余金の配当（特別配当）に関する決定事項のお知らせ」のとおり、2020年6月30日を基準日として総額2,999百万円（1株当たり124.3円）の特別配当を実施いたしました。

株主の皆さまにおかれましては、何卒いっそうのご指導、ご支援を賜りますよう、お願い申し上げます。

2020年12月



*当社は2018年10月1日付で普通株式5株を1株とする株式併合を行っております。第96期の年間配当金は、株式併合前の中間配当と株式併合後の期末配当を合計したものであり、株式併合実施後を基準に換算すると、中間配当は1株につき37.5円、年間配当金は1株当たり75円に相当いたします。

事業別の概況

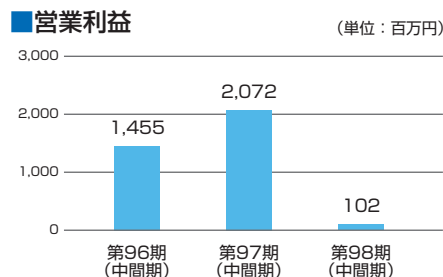
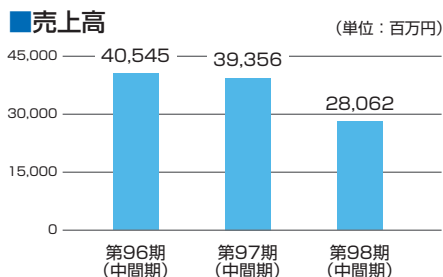
成形機事業（射出成形機、ダイカストマシン、押出成形機など）

射出成形機におきましては、販売は北米、中国向けが堅調に推移したものの、国内、東南アジア、インド向けが減少いたしました。受注は中国向けが増加したものの、国内外で自動車向けを中心とした設備投資が軟調に推移いたしました。

ダイカストマシンにおきましては、国内外で自動車向けが軟調に推移したため、販売と受注が減少いたしました。

押出成形機におきましては、販売は国内の環境に配慮した新素材用シート・フィルム製造装置が増加したものの、中国の二次電池向けシート・フィルム製造装置が減少いたしました。受注は中国の光学用シート・フィルム製造装置が増加したものの、中国の二次電池向けおよび国内の食品容器向けシート・フィルム製造装置が減少いたしました。

この結果、成形機事業全体の受注高は207億4千5百万円（前年同期比41.0%減）、売上高は280億6千2百万円（前年同期比28.7%減）、営業利益は1億2百万円（前年同期比95.1%減）となりました。

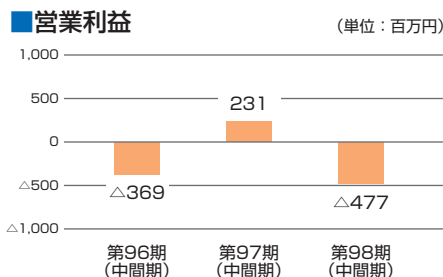
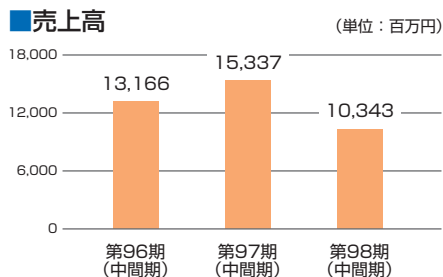


工作機械事業（大型機、門形機、横中ぐり盤、立旋盤、精密加工機など）

工作機械におきましては、国内外で産業機械向けおよび建設機械向けの販売と受注が減少いたしました。

精密加工機におきましては、販売は国内の光学系金型向けが堅調に推移したものの、中国、台湾の光学系金型向けが減少いたしました。受注は国内外で光学系金型向けが軟調に推移いたしました。

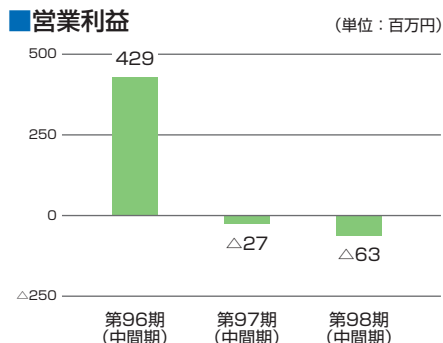
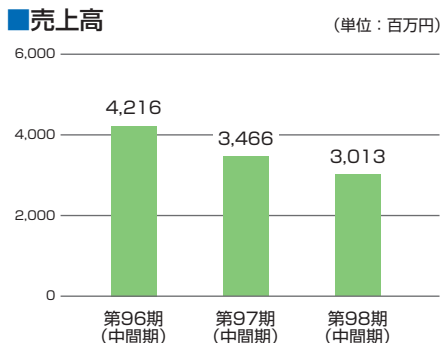
この結果、工作機械事業全体の受注高は66億8千7百万円（前年同期比50.0%減）、売上高は103億4千3百万円（前年同期比32.6%減）、営業損失は4億7千7百万円（前年同期は営業利益2億3千1百万円）となりました。



制御機械事業（産業用ロボット、電子制御装置など）

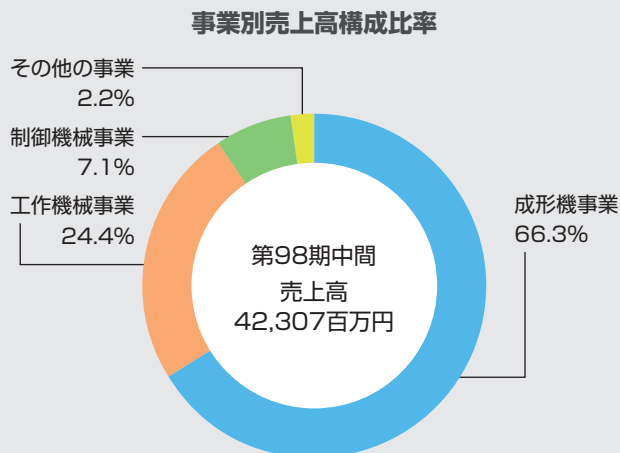
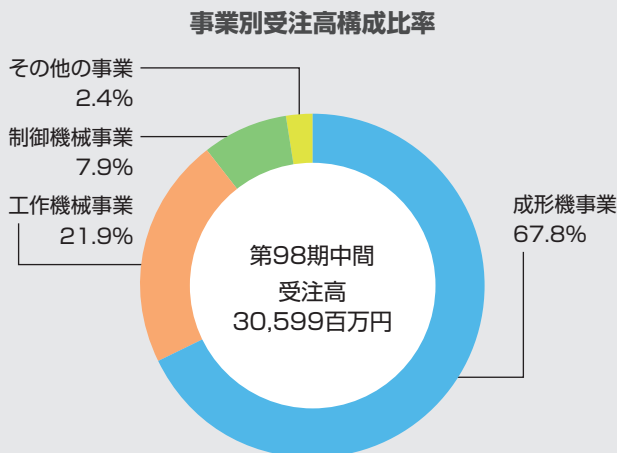
制御機械におきましては、中国の電子デバイス・スマートフォン等の組立自動化設備向けは堅調に推移したものの、国内は設備投資の先送りなどを受けて、販売と受注が減少いたしました。

この結果、制御機械事業全体の受注高は24億6百万円（前年同期比30.0%減）、売上高は30億1千3百万円（前年同期比13.1%減）、営業損失は6千3百万円（前年同期は営業損失2千7百万円）となりました。



その他の事業

その他の事業全体の受注高は7億6千万円（前年同期比40.0%減）、売上高は8億8千8百万円（前年同期比37.7%減）、営業利益は8千9百万円（前年同期は営業損失6億6千3百万円）となりました。



連結財務諸表

連結貸借対照表

(単位：百万円)

科 目	第98期中間期 (2020年9月30日現在)	第97期 (2020年3月31日現在)	科 目	第98期中間期 (2020年9月30日現在)	第97期 (2020年3月31日現在)
資 産 の 部			負 債 の 部		
流 動 資 産	101,887	122,364	流 動 負 債	38,625	53,006
現金及び預金	37,304	47,907	支払手形及び買掛金	17,360	21,279
受取手形及び売掛金	28,419	36,064	短期借入金	10,340	10,090
商品及び製品	8,935	9,052	リース債務	40	32
仕掛品	24,699	26,877	未払法人税等	164	7,218
原材料及び貯蔵品	61	67	未払費用	2,123	5,351
その他の流動資産	2,503	2,444	賞与引当金	1,005	-
貸倒引当金	△ 38	△ 49	製品保証引当金	627	720
固 定 資 産	32,489	31,918	前受金	5,255	6,403
有形固定資産	20,591	20,541	その他の流動負債	1,708	1,909
建物及び構築物	10,397	10,584	固 定 負 債	13,390	14,258
機械装置及び運搬具	2,454	2,151	長期借入金	4,050	4,300
土地	7,043	7,049	リース債務	81	59
リース資産	116	89	長期未払金	5	5
建設仮勘定	78	135	繰延税金負債	0	2
その他の有形固定資産	500	529	役員退職慰労引当金	51	41
無形固定資産	535	561	退職給付に係る負債	8,965	9,770
その他の無形固定資産	535	561	資産除去債務	53	52
投資その他の資産	11,362	10,816	その他の固定負債	181	26
投資有価証券	7,034	6,560	負 債 合 計	52,015	67,264
出資金	493	493	純資産の部		
長期貸付金	9	13	株 主 資 本	79,950	85,006
繰延税金資産	3,183	3,142	資本金	12,484	12,484
その他の投資	1,684	1,655	資本剰余金	11,538	11,538
貸倒引当金	△ 1,043	△ 1,048	利益剰余金	72,273	77,359
資 産 合 計	134,376	154,283	自己株式	△ 16,346	△ 16,376
			その他の包括利益累計額	2,410	2,012
			その他有価証券評価差額金	2,674	2,334
			繰延ヘッジ損益	5	0
			為替換算調整勘定	795	843
			退職給付に係る調整累計額	△ 1,065	△ 1,165
			純 資 産 合 計	82,361	87,018
			負債・純資産合計	134,376	154,283

連結損益計算書

(単位：百万円)

科 目	第98期中間期	第97期中間期
	(2020年4月1日から 2020年9月30日まで)	(2019年4月1日から 2019年9月30日まで)
売 上 高	42,307	59,586
売 上 原 価	30,923	42,583
売 上 総 利 益	11,384	17,003
販 売 費 及 び 一 般 管 理 費	11,700	15,366
営業利益又は営業損失(△)	△ 315	1,637
営 業 外 収 益	498	945
営 業 外 費 用	887	177
経常利益又は経常損失(△)	△ 705	2,405
特 別 利 益	4	1
特 別 損 失	296	24
税金等調整前四半期純利益又は 税金等調整前四半期純損失(△)	△ 997	2,383
法人税、住民税及び事業税	238	817
法 人 税 等 調 整 額	△ 184	△ 54
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△ 1,052	1,620
親会社株主に帰属する四半期純利益又は 親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△ 1,052	1,620

連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

科 目	第98期中間期	第97期中間期
	(2020年4月1日から 2020年9月30日まで)	(2019年4月1日から 2019年9月30日まで)
営業活動によるキャッシュ・フロー	△ 5,408	838
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 571	△ 843
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 4,042	△ 922
現金及び現金同等物に係る換算差額	△ 46	△ 589
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△ 10,068	△ 1,517
現金及び現金同等物の期首残高	48,011	25,592
現金及び現金同等物の四半期末残高	37,943	24,074

連結財務諸表のポイント

資 産

当第2四半期連結会計期間末の資産は、前連結会計年度末に比べ199億7百万円減少し、1,343億7千6百万円となりました。減少の主な内訳は、現金及び預金が106億3百万円、受取手形及び売掛金が76億4千5百万円減少したこと等によります。

負 債

負債は、前連結会計年度末に比べ152億4千9百万円減少し、520億1千5百万円となりました。減少の主な内訳は、未払法人税等が70億5千4百万円、支払手形及び買掛金が39億1千9百万円、未払費用が32億2千8百万円減少したこと等によります。

純資産

純資産は、前連結会計年度末に比べ46億5千7百万円減少し、823億6千1百万円となりました。減少の主な内訳は、利益剰余金が50億8千6百万円減少したこと等によります。

この結果、当第2四半期連結会計期間末の自己資本比率は61.3%となりました。

キャッシュ・フロー計算書

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という)の残高は、前連結会計年度末に比べ100億6千8百万円減少し、379億4千3百万円となりました。なお、当第2四半期連結累計期間における各活動によるキャッシュ・フローの状況は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動による資金は、54億8百万円の減少になりました。これは主として、仕入債務の減少による支出39億7千万円、未払費用の減少による支出32億2千7百万円等があったことによります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動による資金は、5億7千1百万円の減少になりました。これは主として、有形固定資産の取得による支出4億1千5百万円等があったことによります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動による資金は、40億4千2百万円の減少になりました。これは主として、配当金の支払額40億2千5百万円等があったことによります。

Topics

■DIGITAL TWIN FACTORY（デジタル・ツイン・ファクトリー）を開設

当社は、このたび新たなサービス向上の取り組みとして、当社のホームページ上に「デジタル・ツイン・ファクトリー」を開設しました。

本サイトは、先端技術のインタラクティブムービーを導入し、各カンパニー（成形機カンパニー・工作機械カンパニー・制御機械カンパニー）およびその連携システムの製品や工場ラインを展示。仮想空間内にファクトリー・ショールームを設営しています。目の前に実物があるかのようなCG動画を始め、製品の特長や加工事例などをご覧いただけます。

今後は展示会同様にプレゼンテーションや有益情報を発信するセミナーなども開催してまいります。これまで出展していた各種展示会や当社恒例の「ソリューションフェア」も「デジタル・ツイン・ファクトリー」にて随時代替・併用開催していく予定です。常に魅力的なコンテンツを提供できるよう努めてまいります。

デジタル・ツイン・ファクトリーは、当社ホームページ（<https://www.shibaura-machine-dtf.com/>）よりご覧いただけます。



デジタル・ツイン・ファクトリー



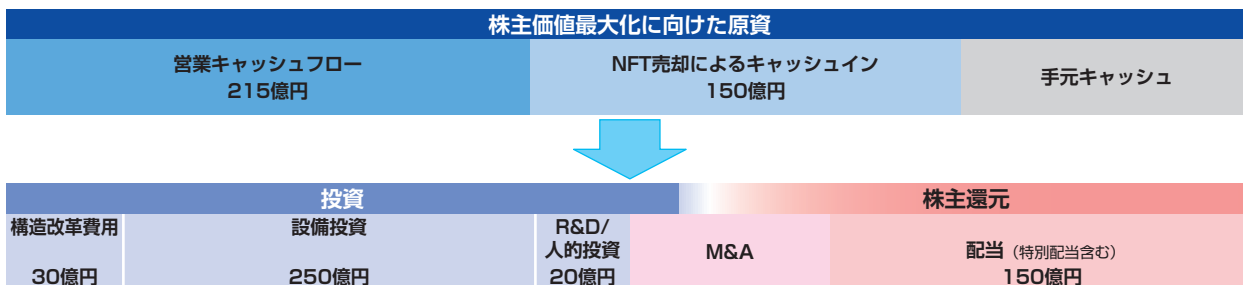
門形マシニングセンタ



スカラロボット

■特別配当を実施

経営改革プラン期間中、連結配当性向40%を目途として、2023年度までのキャッシュフロー原資から約150億円を株主の皆さまに還元していく方針ですが、その一環として、2020年6月30日を基準日として総額約30億円（1株当たり124.3円）の特別配当を実施いたしました。



■NEDO助成事業の助成先に採択「炭素循環社会の実現に貢献」

当社は、このたびNEDO（国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構）が公募した「炭素循環社会に貢献するセルロースナノファイバー（CNF）関連技術開発」研究開発項目①「革新的CNF製造プロセス技術の開発」に、大王製紙株式会社と共に助成先に採択されました。



CNF複合樹脂サンプルと当社二軸押出機

CNFは軽量かつ鋼鉄の5倍の引張強度を有する植物由来の新素材で、各種樹脂材料とコンポジット化することにより製品の軽量化や石油由来樹脂の使用量低減が期待できるため、自動車業界をはじめとする様々な業界で用途展開が期待されています。また、SDGs上で謳われるエネルギー問題の解決や、森林資源の有効活用による炭素循環社会の実現に有効なことから注目されています。

一方、現状のCNFの価格は多くの処理工程を要するため製造コストは高価であり、工業用としては一部の用途で採用されているものの、大きな需要が見込めるCNF複合樹脂製品への本格的な利活用の障害となっています。この状況を打開するためには生産性の向上による低コスト化の実現、樹脂温度低減による着色抑制、凝集抑制や繊維の分散改善などの解決すべき様々な課題があります。

当社は、これまで様々なCNFの材料対応・混練技術、製造装置の開発に取り組み、知見を高めてまいりました。今回の大王製紙株式会社との共同開発では当社の二軸押出機（TEMシリーズ）を用いた一貫製造プロセスの確立や複合樹脂化技術の開発により、CNF素材からCNF複合樹脂材料製造にいたる各工程の生産性をより高い次元まで高め、各種課題の解決を通じてCNFの普及に貢献できることを確信しております。

当社は、大王製紙株式会社とのCNF複合樹脂製造プロセスの確立を通じて、炭素循環社会の実現に貢献してまいります。

■株式会社TBMより薄物用延伸フィルム製造装置を受注（石灰石から製造される革新的新素材の生産に貢献）

当社は、このたび株式会社TBM（以下、TBM社）より薄物用延伸フィルム製造装置を受注いたしました。

TBM社は、海洋プラスチックの削減や資源保全問題への意識が高まる中、地球上にほぼ無尽蔵にある石灰石から紙やプラスチックの代替となる新素材LIMEX（ライメックス）の開発、製造、販売を行っており、注目を集めています。

TBM社は、宮城県多賀城市の「さんみらい多賀城・復興団地」において、敷地面積27,500㎡の国内第二プラントを建設するプロジェクト「MOTHER PROJECT」をスタートしています。TBM社はこの量産工場をモデル工場とし、事業拡大に向けた基盤を確立するとともに、水資源の不足している地域をはじめとした世界中への技術輸出を計画しています。

当社は以前から、TBM社が行なう高品質なLIMEXシートの開発に貢献してまいりました。TBM社からは、LIMEXの薄膜化・高強度化等の機能化を実現するために、当社の装置へ高い期待をいただいております。

当社は、TBM社のモノづくり生産基盤作りを通じて、持続可能な社会作りにも貢献してまいります。

■株主の皆さまの声をお聞かせください

当社では、株主の皆さまの声をお聞かせいただくため、インターネットでのアンケートを実施いたします。お手数ではございますが、アンケートへのご協力をお願いいたします（裏表紙ご参照）。

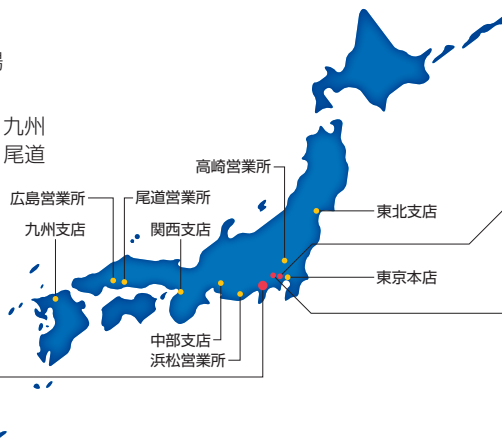
グローバルネットワーク (2020年9月30日現在)

国内拠点

- | | | |
|-----------|-------|-------------|
| ● 本社・製造拠点 | ● 本社 | 沼津 |
| | ● 工場 | 沼津、相模、御殿場 |
| ● 販売拠点 | ● 本店 | 東京 |
| | ● 支店 | 東北、中部、関西、九州 |
| | ● 営業所 | 高崎、浜松、広島、尾道 |



沼津工場（本社）



相模工場



御殿場工場

海外拠点

- | | | |
|------|----------|-----------------|
| 製造拠点 | ● 工場 | 中国、インド、タイ |
| 販売拠点 | 全43拠点 | |
| | ● 東アジア | 9拠点 |
| | ● 東南アジア | 25拠点（インド18拠点含む） |
| | ● 北米・中南米 | 7拠点 |
| | ● 欧州 | 2拠点 |

● 中国工場
SHIBAURA MACHINE
(SHANGHAI) CO., LTD.



● インド工場
SHIBAURA MACHINE
INDIA PRIVATE LIMITED



● タイ工場
SHIBAURA MACHINE MANUFACTURING
(THAILAND) CO., LTD.



会社の概況／株式の状況 (2020年9月30日現在)

会社の概況

- ① 所在地
東京都千代田区内幸町2丁目2番2号
- ② 創業
1938年(昭和13年)12月
- ③ 設立
1949年(昭和24年)3月
- ④ 資本金
124億8千4百万円
- ⑤ 従業員数
連結：3,115名(前期末比245名減)
単独：1,692名(前期末比104名減)
- ⑥ 役員(2020年12月1日現在)
- | | |
|---------------------------|------|
| 代表取締役会長
最高経営責任者 | 飯村幸生 |
| 代表取締役社長
最高執行責任者 社長執行役員 | 坂元繁友 |
| 取締役 専務執行役員 | 小林昭美 |
| 取締役 専務執行役員 | 大田浩昭 |
| 社外取締役 | 佐藤潔 |
| 社外取締役 | 岩崎清悟 |
| 社外取締役 | 井上弘 |
| 社外取締役 | 寺脇一峰 |
| 社外取締役 | 早川知佐 |
| 取締役(常勤監査等委員) | 高橋宏 |
| 社外取締役(監査等委員) | 小倉良弘 |
| 社外取締役(監査等委員) | 宇佐美豊 |

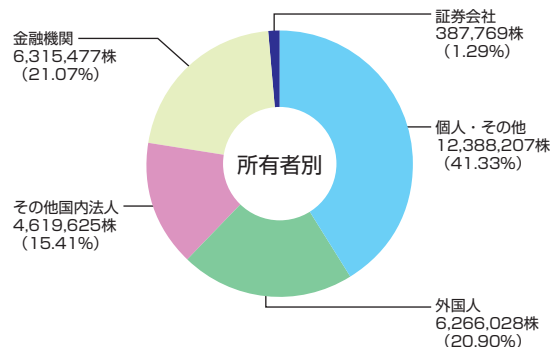
株式の状況

- (1) 発行可能株式総数 72,000,000株
- (2) 発行済株式の総数 29,977,106株
(自己株式5,831,215株含む)
- (3) 株主数 11,790名
(前期末比2,718名増)
- (4) 大株主(上位10名)

株主名	持株数	持株比率
株式会社オフィスサポート	1,576千株	6.53%
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	1,561	6.47
株式会社エスグラントコーポレーション	1,258	5.21
株式会社日本カストディ銀行(信託口)	823	3.41
株式会社東芝	667	2.77
STATE STREET BANK AND TRUST COMPANY 505103	664	2.75
株式会社静岡銀行	596	2.47
BBH FOR GLOBAL X ROBOTICS AND ARTIFICIAL INTELLIGENCE ETF	576	2.39
芝浦機械従業員持株会	537	2.23
株式会社三井住友銀行	536	2.22

- (注) 1. 当社は、自己株式を5,831,215株保有しておりますが、上記大株主からは除外しております。
2. 持株比率は自己株式を控除して計算しております。

(5) 株式の分布状況



(注) 自己株式を含みます。

株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	6月
基準日	定時株主総会については3月31日 その他必要があるときは、あらかじめ公告して定める日
期末配当基準日	毎年3月31日
中間配当基準日	毎年9月30日
公告掲載新聞	日本経済新聞
株主名簿管理人	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
郵便物送付先	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 (電話照会先) 電話 0120-782-031 (フリーダイヤル) 取次事務は三井住友信託銀行株式会社の全国各支店で行なっております。

- ・住所変更、単元未満株式の買取等のお申出先について
株主さまの口座のある証券会社にお申出ください。
なお、証券会社に口座がないため特別口座が開設されました株主さまは、特別口座の口座管理機関である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。
- ・未払配当金の支払について
株主名簿管理人である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。



個人投資家向けHPのご案内



個人投資家の皆さまに当社へのご理解を深めていただくためのページをご用意しております。ご高覧の上、下記のアンケートにてご感想、掲載内容へのご意見等いただければ幸いです。

<https://www.shibaaura-machine.co.jp/jp/ir/private/>

株主の皆さまの声をお聞かせください

当社では、株主の皆さまの声をお聞かせいただくため、アンケートを実施いたします。お手数ではございますが、アンケートへのご協力をお願いいたします。

下記URLにアクセスいただき、アクセスコード入力後に表示されるアンケートサイトにてご回答ください。所要時間は5分程度です。

<https://www.e-kabunushi.com>
アクセスコード **6104**

空メールによりURL自動返信
kabu@wjm.jpへ空メールを送信してください。(タイトル、本文は無記入) アンケート回答用のURLが直ちに自動返信されます。

●アンケート実施期間は、本書がお手元に到着してから約2ヶ月間です。
ご回答いただいた方の中から抽選で薄謝(図書カード500円)を呈させていただきます。

※本アンケートは、株式会社 a2media(エー・ツー・メディア)の提供する「e-株主リサーチ」サービスにより実施いたします。
(株式会社 a2mediaについての詳細<https://www.a2media.co.jp>)
※ご回答内容は統計資料としてのみ使用させていただきます。事前の承諾なしにこれ以外の目的に使用することはありません。(1809)

●アンケートのお問い合わせ
「e-株主リサーチ事務局」 MAIL:info@e-kabunushi.com